

石樽の里まつり開催趣旨

1 石樽の里コミュニティの活動理念

『子どもは地域の宝 地域全体で守り育てる』

『交流、協働、共育による 学校づくり、人づくり、里づくり』

2 里まつり開催趣旨

まつりや実行委員会などを通じて地域と学校の交流を更に深める

3 第10回 石樽の里まつりテーマ（案）

“石心”でつなげよう地域の絆

今年の里まつりは10回目の節目となります。
回を重ねるごとに地域と学校のつながりが強まってきています。

子どもたちから寄せられる感想文には「実行委員への感謝の気持ち」や「地域と学校を誇りに思う気持ち」が沢山綴られるなど、里まつりは子どもたちにも良い影響を与えています。

子どものため、学校のため、地域のために尽力することをいとわない**石樽の人の心**『石心』によって支えられ運営されてきた里まつりの成果だと言えます。

全国的に高齢化や生活習慣の多様化が進み、地域のつながる力が弱くなったと言われています。こうした環境のなか、最も影響を受けるのが子どもや子育て世代です。子どもの社会性が育まれにくくなる。子育て世帯が孤立してしまう。子どもやその親に地域の文化や伝統が継承されないなど・・・

今、まさに、地域と学校が連携し、子どもを守り育てる環境づくりが求められています。子どもがそこにいるだけで、すくすくと育つ。そんな環境が必要です。交流と協働を通じて地域全体で子どもを育む「共育の輪」を広げていかなければなりません。

石樽の里まつりを通じて地域と学校の交流を深め、つながりを更に強くして、地域全体で子どもを守り育てる環境を築いていきましょう。

